

パシフィコ横浜 アネックスホール					パシフィコ横浜 展示ホールC
第3日 6/22	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	展示会場
9:00	<b>教育講演3</b> 「蒸気滅菌へのアプローチ」 谷野 雅昭 (川崎医科大学 麻酔・集中治療医学・講師) 座長：大川 博史 (東京大学医学部附属病院 材料管理部・助教)  9:00～9:40	<b>一般演題</b>  <b>医療安全対策1</b> [83～87]  座長：内田 荘平 (福岡看護大学)  9:00～9:50	<b>特別講演3</b> 「鋼製器具はどう作られるか、そしてそのライフサイクル」 市川 洋一 (ミズホ樹 五泉工場 品質保証部 品質管理課・課長) 座長：河村 秀樹 (静岡県立こども病院・副院長)  9:00～9:40	<b>一般演題</b>  <b>電磁環境・電波管理</b> [102～107]  座長：楠本 繁崇 (大阪大学)  9:00～10:00	
9:50	<b>一般演題</b>	<b>パネルディスカッション4</b> 「標準化Indicatorの現状と問題点 ー薬機法改正、トレーサビリティ用バーコードはなぜ義務化されたー」 座長：田中 聖人 (京都第二赤十字病院・特任院長補佐) 美代 賢吾 (国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 医療情報基盤センター・センター長) ①トレーサビリティ用バーコード付与の意義 野村 由美子 (厚生労働省医薬局医薬安全対策課・課長) ②標準化の重要性とトレーサビリティー展望と課題 植村 康一 (GS1 Japan ソリューション第1部・部長) ③医療機関でのバーコード活用 ー取り間違い防止とトレーサビリティへの応用 田中 聖人 (京都第二赤十字病院・特任院長補佐) ④メーカーからみたバーコード表示 ー行政・医療機関に望むこと 大畑 卓也 (一般社団法人日本医療機器産業連合会 UDI委員会・委員長)  総合討論  9:50～10:50	<b>教育講演4</b> 「ロボット支援手術、支援する方も大変です」 深柄 和彦 (東京大学医学部附属病院 手術部・教授・部長) 座長：佐久間 一郎 (東京大学大学院工学系研究科・教授) 9:45～10:25	<b>一般演題</b>  <b>医療機器管理3</b> [108～114]  座長：今井 英一 (新潟市民病院)  10:10～11:20	
10:30	<b>洗淨2</b> [63～68]  座長：大西 真裕 (昭和大学藤が丘病院)  9:50～10:50		<b>シンポジウム3</b> 「医療機器の進歩は医療機関で働く女性の活躍推進にどのように影響したか」 座長：内田 美保 (聖徳大学看護学部看護学科・教授) 高橋 純子 (北陸大学医療保健学部医療技術学科・教授) ①医療機器の進歩に伴う臨床工学技士業務拡大による女性技士の働き方の変化 高岡 祐子 (地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 臨床工学科・技士長) ②～いのちのエンジニアー 女性臨床工学技士の今昔物語、そしてその先へ 千葉 美樹 (公益財団法人仙台市医療センター 仙台オーブン病院 診療支援部 臨床工学室・技士長) ③臨床工学部のあゆみと医療機器管理 松本 恵子 (三豊総合病院 臨床工学部・部長) ④女性臨床工学技士の活躍とキャリア形成について 玉元 由果莉 (社会福祉法人大阪明眼院 大阪明眼病医院 臨床工学科)  10:30～11:55	<b>教育講演5</b> 「懸念されるEUと国際標準組織の亀裂ー医療産業への影響と日本医療機器学会が果たせる役割ー」 大村 昭人 (帝京大学医学部 名誉教授、ISO/TC121 (技術委員会121)/SC3 (人工呼吸および関連機器) 国際議長) 座長：安原 洋 (東京大学 名誉教授) 11:25～11:55	<b>MEDICAL SHOW JAPAN &amp; BUSINESS EXPO 2024</b>  公開セミナーⅢ (10:30～12:00)  テーマ 「これからの医療ロボティクス」  【講演1】 「搬送ロボットが働き方改革をサポートー業務効率化と患者様ケア時間創出に向けてー」  【講演2】 「ロボティクス社会における医療とAI技術の未来ーAIによる心電図解析の革新と心原性脳梗塞の予防(仮)ー」  【パネルディスカッション】 テーマ 「これからの医療ロボティクス」
11:00	<b>一般演題</b>				
11:25	<b>滅菌2</b> [69～74]  座長：柴田 義浩 (国立病院機構再春医療センター)  11:00～12:00				
11:30					
12:00					
	<b>ランチョンセミナー4</b> 「『香港における中材業務の变革と今』ー香港の中材はどのように変わっていったのか?そしてその今をサミュエルロー氏が語るー」 Samuel Tat Hong LAW (Hong Kong Sterile Service Management Association 理事) 座長：松田 和久 (福岡市民病院 麻酔科)  12:10～13:00	<b>ランチョンセミナー5</b> 「やってみよう! データロガーを使わないバリデーション ーはじめの一歩からマニアックまでー」 酒井 大志 (越谷市立病院 診療部 滅菌管理室・主査、第1種滅菌技師) 座長：久保田 英雄 (東京医科歯科大学病院 材料部・部長、准教授)  12:10～13:00	<b>ランチョンセミナー6</b> 「どこからはじめる? 滅菌供給部門 (CSSD) のDX革新」 共催：サクラ精機所 大川 博史 (東京大学医学部附属病院 材料管理部・助教) 座長：深柄 和彦 (東京大学医学部附属病院 手術部・教授・部長)  12:10～13:00	<b>ランチョンセミナー7</b> 「患者と自分たちを守るための滅菌保証 ー“リリース基準”で安全な器材の提供を担保するー」 齋藤 篤 (大阪大学医学部附属病院 材料部・副部長) 座長：高階 雅紀 (大阪大学医学部附属病院 手術部、材料部・部長、病院教授)  12:10～13:00	
13:00					
14:00	メディカルショー見学休憩				
14:00	<b>一般演題</b>  <b>洗淨3</b> [75～T82]  座長：長瀬 清 (岐阜大学)  14:00～15:20	<b>一般演題</b>  <b>医療機器管理1</b> [88～94]  座長：高橋 典彦 (岩見沢市立総合病院)  14:00～15:10	<b>シンポジウム4</b> 「AI技術の実質運用に向けた課題」 座長：沖野 晃俊 (東京工業大学 未来産業技術研究所・准教授) 田中 聖人 (京都第二赤十字病院・特任院長補佐) ①消化器内視鏡画像を用いたAI研究におけるNII (九州大学) の取り組み 原田 翔太 (広島市立大学 情報科学研究科・助教) ②外科領域におけるAIを用いた研究 伊藤 雅昭 (国立がん研究センター東病院・副院長／大腸外科長／医療機器開発推進部門長) ③循環器領域におけるAI実質運用 笹野 哲郎 (東京医科歯科大学 循環制御内科学分野・教授) ④眼科領域におけるAI研究 三宅 正裕 (京都市立大学 医学研究科 眼科学・特定講師) ⑤AIを用いた医療機器プログラムの市販後再学習における留意点 清水 昭伸 (東京農工大学大学院工学研究院・教授) ⑥レギュラトリーサイエンスに基づくAI実質運用における規制上の留意点について 中岡 竜介 (国立医薬品食品衛生研究所 医療機器部 埋植医療機器評価室長)  14:00～15:30	<b>一般演題</b>  <b>技術開発／改良</b> [115～120]  座長：中島 章夫 (杏林大学)  14:00～15:00	
15:20		<b>一般演題</b>  <b>医療機器管理2</b> [95～101]  座長：藤原 道隆 (名古屋大学)  15:20～16:30	<b>シンポジウム5</b> 「物流2024年問題への取り組み事例 ーメーカー・卸の立場からー」 座長：島田 正司 (小西医療器株式会社取締役) 南 正人 (市立戸屋病院・病院長) ①物流業界における2024年問題への対応 殿村 英彦 (セーシー興事業政策推進本部 輸送事業推進部・常務理事) ②医療機器メーカーとしての2024年問題について 河村 健一 (テルモ株式会社SCM推進室 商品調達グループ・リーダー) ③卸業者・SPD事業者としての2024年問題について 島田 正司 (小西医療器株式会社取締役)  総合討論  15:30～16:55	<b>一般演題</b>  <b>医療安全対策2</b> [121～125]  座長：加藤 伸彦 (北海道情報大学)  15:10～16:00	
15:30	<b>パネルディスカッション3</b> 「医療現場における滅菌保証のための施設評価ツールを使ってみました!」 座長：齋藤 篤 (大阪大学医学部附属病院 材料部・副部長) 齋藤 祐平 (東京大学医学部附属病院 手術部、材料管理部・副部長) ①評価ツールで分かる施設の課題 ー国立大学病院材料部相互チェックを受審してー 大村 久美 (福井大学医学部附属病院 滅菌管理部・看護師長) ②国立大学の外部監査をおこなったサーバイヤー 足立 沢実 (東京医科歯科大学病院 材料部・主任、第1種滅菌技師) ③評価ツールはコンピネーションツール! 大出 めぐみ (ワタキューセイモア株式会社 支店 業務部管理2課・第1種滅菌技師) ④評価ツール作成者からのQ&A 藤島 宏美 (東北大学病院 材料部・第1種滅菌技師)  総合討論  15:30～16:55				
16:00					
17:00					
	若手奨励賞、優秀発表賞・閉会の辞				